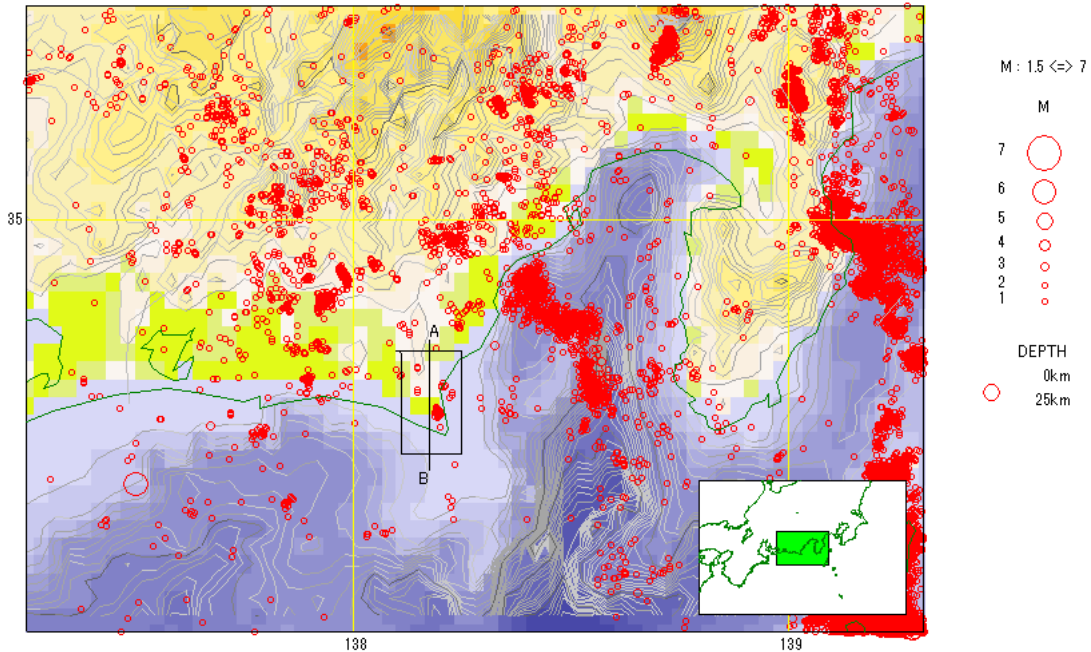


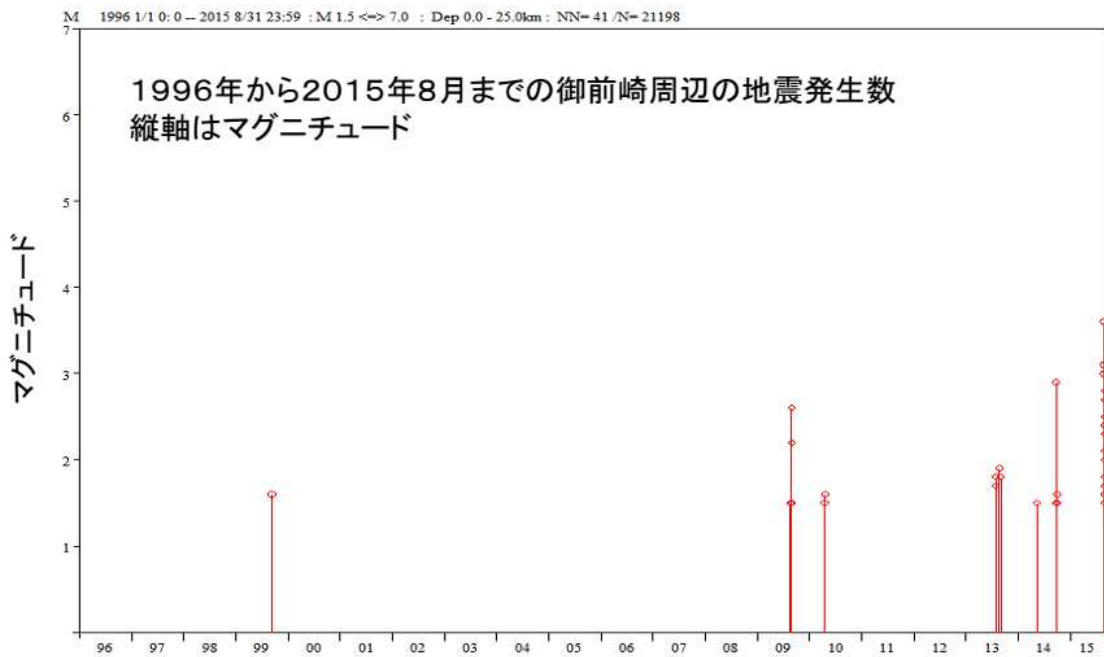
御前崎周辺で少し気になる地震活動が発生しています

8月29日から、御前崎周辺で少し気になる地震活動が続いています。下の図は1996年以降のマグニチュード1.5以上の地震をプロットしたものです。赤い点がすべて地震です。駿河湾の中にある固まった活動は、2009年8月11日に発生した駿河湾の地震（M:6.5）に関連する余震活動です。

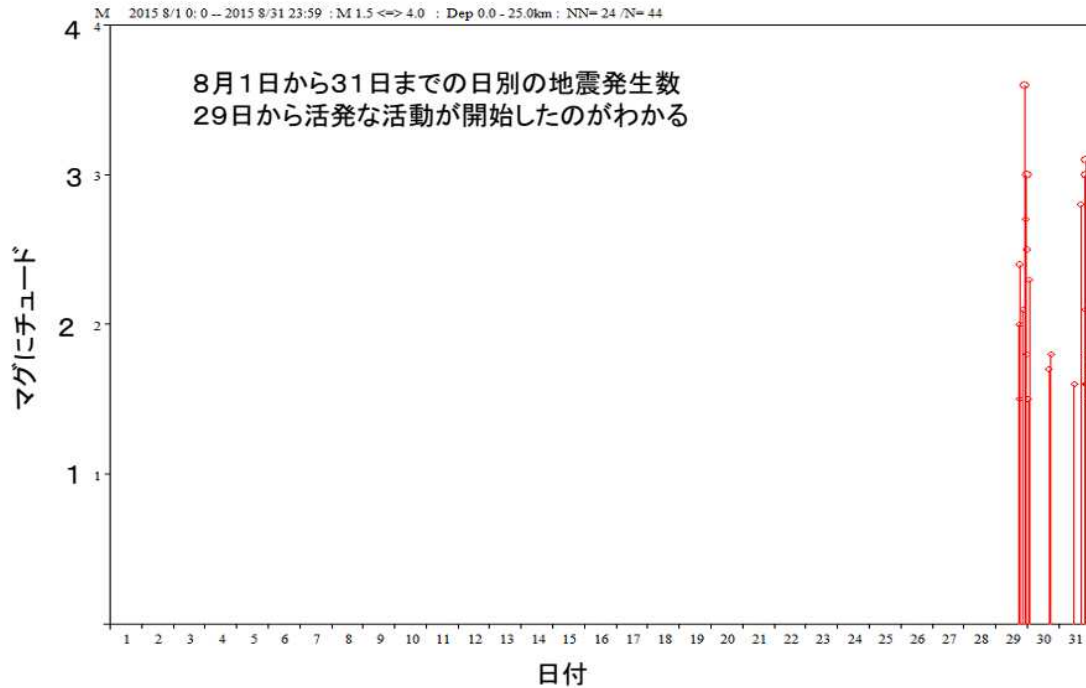
1996 1/1 0:0 -- 2015 8/31 23:59



ここで御前崎周辺の地震活動だけを抜き出してみます（図中の四角の範囲）。横軸は1996年からとなっています。ご覧のように、2008年まではほとんど地震が発生していない場所でした。一番右側に固まっている活動が8月29日以降の地震です。



次のページには2015年8月のみを拡大した図をお見せします。



この29日からの地震活動は深さ10kmから15kmで発生しています。これは想定東海地震が発生すると考えられている深さ（30-40km）と大きく異なりかなり浅い所です。

今後1週間程度で、さらに規模の大きな地震が発生するか、加速度的に地震発生数が増えるというような事態になるかが鍵といえるでしょう。

#### 気象庁が「東海地震との関連は（たぶん）無いであろう」という発表の理由

静岡県内や駿河湾で地震が発生すると必ず聞かれる問いは「東海地震との関係は？」という事です。なぜ「関係は無い」というコメントになるのかを説明しますと、

##### 1) 地震が浅い

上記のように想定東海地震は沈み込むフィリピン海プレートの上面で発生すると考えられています。そうしますと、今回の地震はプレート境界からかなり離れた場所で発生している事がわかります。

##### 2) この地震によるプレート境界への影響が小さい

なぜ影響が小さいと考えるかと言いますと、それは今回発生した地震により、どれくらいの応力変化（歪の変化）をプレート境界に与えるかを計算しています。御前崎の浅い所で発生した地震による影響が、毎日の変化（これは地球潮汐というのですが、固体地球も海と同じように、一日2回上下動をしています。日本付近ですと、実は地球自体も月や太陽の引力で、上下に20cmほど変形しているのです（地球が毎日わずかに変形している！）。この毎日の変動より、発生した地震による影響がかなり小さいので、「東海地震につながる可能性は低い」「東海地震とは関係が無い」というコメントになるのです。

またこの地震活動と同時期に箱根・大涌谷も小康状態だったのですが、再び地震活動が活発化しています。こちらも気になるところです。